

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

西川ゴム工業株式会社 三原工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原字袖掛200-39

(3) 業種

2033

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から平成30(2018)年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

<基本理念>

当社は、環境保全を経営の重要課題として、社是(正道、和、独創、安全)の精神で製品の開発・生産・販売の全ての段階において「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

<行動指針>

1. 法令遵守
環境関連の環境法規制等、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
2. 環境に配慮したモノづくり
開発・設計から廃棄までの製品のライフサイクルにおいて、環境負荷物質の低減に取り組みます。
3. 負荷の軽減
事業活動において、省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、有害化学物質の使用抑制に取り組み、その継続的改善に努めます。
4. 社内啓発活動
全従業員の環境に関する法律遵守及び環境への意識向上を図るため環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保全活動を推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成28年度
二酸化炭素	7,806	7,876

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成28年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成28年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)	削減目標		目標年度 (平成30年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産数(千本)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成30年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	2.41	4.1	-	-	2.31
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	ファンポンプのインバーター化	電力消費量 0.1%減	直入れ駆動の ファンポンプをインバーター駆動にする。
2	照明器具の置換	電力 約0.2% 減	蛍光灯のLED化
3	コンプレッサーの高効率機へ置換	電力 約0.2% 減	定速機コンプレッサー (約20年稼動) 高効率タイプへ置換
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

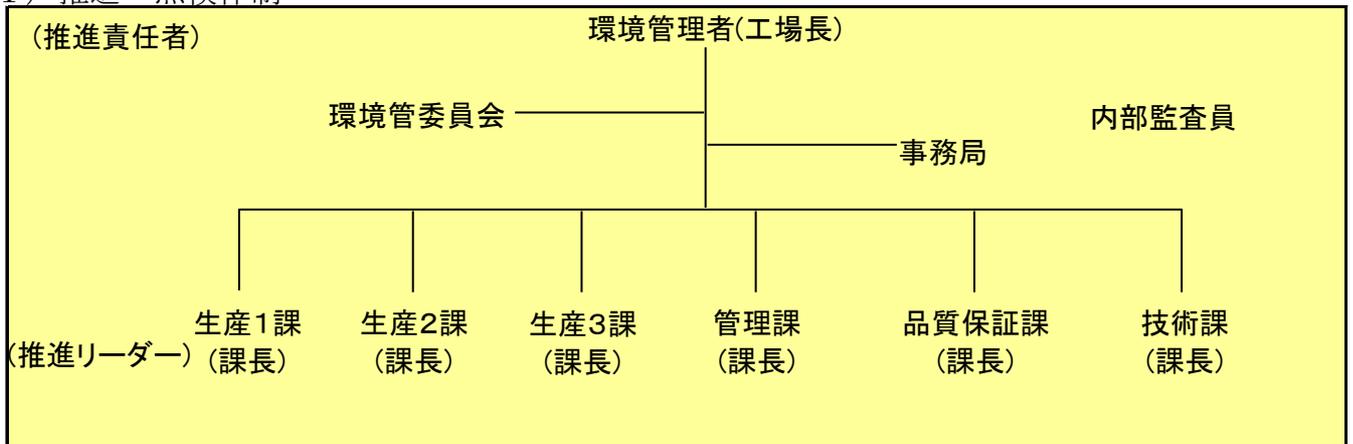
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	環境負荷の低減 リサイクル率の向上	リサイクル率 99%以上	シリコーン廃液ドラムのリサイクル埋め立て行きリサイクルについての教育と分別の徹底。
2	量産歩留の向上	総合歩留 93.9%	各グループ(課)の計画書による。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

設備Grが温室効果ガス削減計画作成し工場長が承認するとともに
実施率及び効果の確認を行ない問題点発生の場合は
環境管理委員会にて審議・見直しを行う。

(3) 計画書等の公表

- ・事業所に備え付けて閲覧する